

豊中市東丘公民分館

公民館だより

編集発行  
東丘公民分館  
広報委員会

地区体育祭に行く

東丘小一年 たかはしときこ

ちくのうんどうかいに、わたしはおかあさんと、おにいちゃんときみちゃんたちと、みゆきちゃんたちとでいきました。さいしょに、一ねんせいの、みんなとはしりました。わたしは四いになつても、がんばつてはしりました。でもしんどかった。それから、「くぐりのしっぽり」のとき、しっぽをとられたから、まげちゃつたのでいやだったです。でもしょうひんは、もらえたのでよかったです。そのつぎに、「おっかたまいれ」をしました。おっかたまいれは、おもしろかったです。そらがくもつてたから、ちょっとさむかったです。でもおもしろかったです。

体育祭の感想

東丘小五年 平川亜希子

最初、お母さんに、「地区の体育祭の時、朝礼台の上で、ラジオ体操そうをして。」と私はたのまれたので、することにしました。



(全 景)

した。

私は体育祭の日まで、お姉ちゃんに教えてもらうことにしました。その日になると、私は体そう服に着がえて、お母さんのいる場所に行きました。校長先生達の話聞き終わりました。

次は、私の出るラジオ体操そうでした。お母さんが、「亜希子、行きなさい。」と言つたので、私は行きました。体そうの

曲がかかるまえに、私はこういうことをかんじました。「こんなに人がいる前で体そうするのは、はずかしいなあ。」と私は思いました。でも、体そうをはじめるとへい気になりましたが、ましがった時はとてもはづかしかったです。「ましがえずにできれば、もっとよかつたのになあ...。」と思ひました。終つてからノートをもらえたので、とってもうれしかったです。

地区体育祭

第八中一年 原 智美

朝、十時位から友達といっしょに、東丘小学校校庭での地区体育祭に行きました。

最初に三人で、ラムネ飲み競走に出ました。同じ組で、二人とも、一位と二位に入りました。私も三位に入りそうだったけれど、中学三年の人と同じ位だったぬかせるかわからなかつたけど、やっぱり、ぬかされてしまったのでそれが残念だった。午後からも、二つの競技にでました。

来年も、また、行こうと思ひます。

地区体育祭の感想

第八中一年 中平ちはる

十月十一日は地区の体育祭でした。毎年のように天候が悪くて、今年はずれるかなあと思つていたらまたくもり空だったの



(地区対抗リレー)

で、なんとなく残念でした。

私が出たのは、「追いつけ追いつけせ釜本さん」と「私はウエイトレスさん」です。サッカーボールをけて行く「追いつけ追いつけせ釜本さん」では、ふだんサッカーなどしないのでボールをはこぶのが大変でした。他の人もサッカーボールを相手に四苦八苦して、見ているだけでも楽しかったです。「私はウエイトレスさん」では、三角布とエプロンのところまで時間がかかって、ピリから二番目でした。でも面白かったです。

毎年地区の体育祭には行つていますが、今年も楽しい体育祭でした。来年もまた行きたいと思つています。

私達のあかしや

東丘小六年 森 敦子

私達のあかしや住宅は、大都會の周辺にしては、想像できないくらい緑に囲まれている住宅です。交通の便は良く、小学校も中学校も近くに有ります。このあかしやという名前は、囲りにあかしやの木がたくさんたっているところから名付けられたのです。公園では、昼間や夕方には、みんな遊んで時にはけんかもある、にぎやかな公園です。ある日には、朝早くからみんな、草かりをしたりして、美しいあかしや住宅にするように、みんなでいろいろな行事を行っています。そして近くに中央公園があります。とても大きな公園なので、あかしや地区の人のマラソンコースや遊び場にも使われています。このあかしや住宅を、これからも豊かな、住みよい町にしていきたいです。



私たちの住んでいる街に関心を持ってみませんか？

こんにちは

リレー訪問 第3回

あかしや自治会会長代行  
高野光男さん

◎東町には、11地区があります。それぞれの自治会活動で活発な活動がなされています。チョットお隣りさん地区に、東町全体に興味を持っていただければと、訪問リレーを続けています。会長の林兵治郎さんが病気のため高野さんにお会いしました。

公民分館デース



◎あかしや住宅の現状からうかがいたいと思います。  
△あかしや住宅は百二十戸で構成され、約四百人位、小学生は少なく、高齢世帯となった古い入居者と、新しく入居した若い世帯からなっています。管理組合の発足は昭和四五年三月、自治会結成は昭和四十六年一月です。管理組合の理事が自治会の役員を兼ねています。理事は各階段から一名ずつの十五名からなっています。仕事としては建物などの保守管理が中心です。管理組合は住宅の所有者が必ず加入することになっていますが、借家の人がふえる傾向にあり、現在二十五戸位あります。借家の方も管理組合理事などで活躍して頂いています。所有者が遠方に住んでおられる場合、管理組合費の徴収に会計理事の方が苦労されているようです。  
◎あかしや住宅の問題点はどこにありますか。  
△管理費として月五千円、そのうち二千円が共益費、三千円が修繕積立金です。

年々建物の傷みが激しくなっています。昭和五十五年に屋上、外壁等の大規模な修理をしたときも、積立金だけでは足りなくて一時金を徴収しました。修繕計画はあるのですが現状にあわなくなってきたており、一方理事は毎年代わるため新しい将来計画がなかなかたてられません。今の積立金ではとういてい足りないので増やさねばならないのですが、みんなの納得をどうして得るかが問題です。昨年から修繕積立金問題懇談会をつくりましたが、理事長が病気されたこともあって今年はまだ活動していません。  
◎駐車場の問題はありますか。  
△最初駐車場は四十台分でした。現在は五十二台分になりました。この駐車場は毎年抽選をし、占有権を認めています。現在申込者のうち十台以上があふれています。これらの人は待機車のステッカーを出しておけば住宅内に駐車するのを認めています。  
◎駐車料金は月三千円で安すぎると思いませんか。待機車は払わなくてよいので待機車のままでいようとする人もいます。最小限六十台分の駐車場が必要だと思います。緑地を少し削ればスペースはあるのですが、車のない方の反対があります。不法駐車には困ります。駐車場担当理事が駐禁の紙を貼るのですが効果はありません。  
◎駐車料金は主に修繕積立金にまわしています。自分の所有車でない原則として駐車場の申し込み権がありません。

### 地区体育祭に参加して

中川 清

秋の楽しかった一日。恒例の地区体育祭も第十九回となり、回が進むにつれて参加者も増え、充実しているように思います。

小学生庄巻の「地区対抗リレー」では、かわい一年生のスタート。二年、三年、一生懸命に応援する姿、走る人と見る人が一体となつての競技はみものでした。

私も「追かけ玉入れ」に参加して、子供達を相手に学校の先生と走り回りましたさすがに疲れました。マラソンで頑張った人もすごいです。

自らの力を出しきって走り抜いたさわやかさ。中でも小学生で一番にゴールインした子供、女性で最後まで走り抜いた人、等みんな、よく頑張りました。

「地区対抗おしり合ひの仲」もチームワークのいる唯一の種目でした。さあスタートです。二人三脚の二人の足並がそろいません。二人縄とび、むっかしいです。

四人一組のむかで。イチニ、イチニの掛け声も空しく仲々揃いません。最後は背中でのボール運び。

みんな一人では出来ません。力を合わせてこそいい結果が出るのです。これはチームワークの勝利です。

幼稚園の演技、可愛いくてよかったです。あめくい、ウエイトレス等々、童心



(成人地区対抗リレー)

にかえり楽しかったです。団地の皆さん、今後も、大いに参加し、地域づくりと親睦を深めていきましよう。

“秋ぞらに集<sup>ま</sup>って 楽しい体育祭”

○自転車についてはどうですか。

△自転車が増えて自転車置場に入りきれないで困っています。各棟に自転車置場があるのですが一戸に二台以上ある家も多く、單車も増え整理に困ります。使用料は無料ですが、管理に金もかかりますので、二台以上の場合には有料にしてはと言う意見もあります。

○あかしや住宅の年間行事について。

△管理組合と自治会の定例総会があり予算案等について話し合っています。草とりを年二・三回行い親睦をはかる機会にしています。自治会費(月百円)はあまり使っていませんでしたが、昨年からは敬老の日に七十才になられた人にプレゼントをすることにしました。また子供会の活動にも協力しています。

○公民館活動への参加について。

△あかしや以外の住区の方に接している情報が得られるのでプラスになります。

○公民分館への希望を。

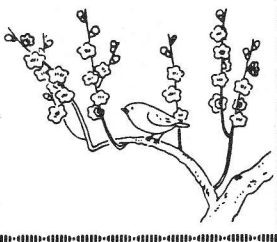
△あかしやからも行事に参加する人が多くなつたような気がします。実は、十四、

△地域活動、参加は心に若さよぶ

△集って 語って 笑って 公民館

△地域の輪 あなたと私がつくるもの

五年前増しの要望がまとまり、施工計画、図面も出来るようになってきたのですが、当時の管理組合の規則では全戸の賛成がないと成立しなかつたので、わずかの反対で中止になりました。その時感じたことは、話し合いがうまくできるような平素からの親睦の積み重ねです。親睦の場として公民館活動を多に利用すべきだと思います。



### 副実行委員長を

### 終えて

藤井勝也

九月二十日、今年度の地区体育祭の第一回実行委員会が東町会館で開かれた。引き受けたものの副実行委員長のやるべき仕事の範囲はどこまでであるか、はっきりしないまま、第二回実行委員会が九月二十七日に開かれ、副実行委員長の坂井津多子さんや経験者の方々からいろいろと説明を受けるにつれて体育祭当日までにはおおよそのやるべき仕事を理解できた。

十月十一日の体育祭当日は十月中旬としては肌寒く、今にも雨が降らんばかりの状況であった。いろいろな人々の助けをうけ、何んらの混乱もなくスムーズにプログラムが進み、最後の「地区対抗リレー決勝」の種目が終わった時には内心ホッとしました。運動会当日、東町住民も多く集まっていたが、競技にも参加され楽しい一日を過ごしていただいたものと思います。体育祭当日に至るまでの準備がこれほど大変とは正直なところ想像していません。競技種目の設定、それに用いる用具の準備、各種目ごとの出場者数の予測、それに対応した景品数の用意、さらにスムーズにプログラムが進行するための様々な工夫等、各自治会や、各団体から実行委員会に参加していただいた人々に深い感謝を表明したい。

来年度に向けて、一層充実した体育祭にするために工夫も必要ですが、体育祭を通して地域住民のコミュニケーションが深まり、地域活動がさらに活性化することを望んでやまない。



(集まれゲートボールだよ！)

### 「社交ダンス」に

### 参加して

木村吉樹

「クイック、クイック、スロー、スロー」、若い浜田先生の掛け声が、体育館いっぱいに響きわたる。これに合わせて、老いも若きも、ギコチナイ足どりで、ステップを踏みはじめる。それでも、照る日、曇る日、回を重ねて、「ブルース」、「ルンバ」、「ジルバ」……とすすむうちに、次第に身体もほぐれ、心ウキウキ、楽しさが湧いてきました。「青春一ぱい」の気持ちです。そして、若い頃に観たフランス映画「舞踏会の手帖」の一シーンを想い起こさず今日この頃です。

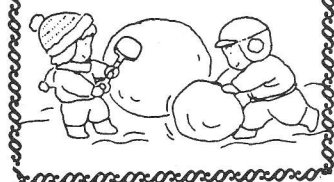
今回の「催し」をお世話下さった方々、

### 秋の講座



### 公民分館のめざすところ

- 公民館と分館との連携緊密化
- 分館事業、運営の平準化の促進
- 分館活動の推進強化と機関としての確立
- 社会活動推進啓発





# 盆踊り大会を顧りみて

自治会連絡協議会

会長 吉田 昭

六二年度地域盆踊り大会も成功裡に終れたことを会員の皆様と共に喜びたいと存じます。

協議会が六月に新しく発足して第一番に手がけた地域行事であっただけに協議会全役員が、大変緊張をすると同時に、初めての取組みであるだけに、何んとしてもやりとげてみなければとの考え方に立ち、三団体（公民分館・社協・防犯）の申し入れを受け入れることになりましたが、はたして、何から手を付けたらよいのか、まったくのところ、暗中摸索を続ける状況でした。これまで実施されて来た盆踊り大会はいつも盛大に行われていただけに下廻ることも出来ず、経験者である先輩諸氏（公民分館＝植木・中村両氏、社協＝辻村・今井氏）に一方ならぬご尽力を賜りながら、外注に行事用の仕入れにと走り回るかたわら協賛者の募集にと日夜を徹して、事務局長の玉木氏、補佐の米川氏が、文字通り東奔西走され、そのご苦労たるや筆舌につくせないものがありました。その間会場設営のため小学校への協力要請とやぐらの設営（地域への協力参加で藤田工業KK）からの応援などを受け場内の模擬店の割り振りについても、実行委員会の話しあいにより決



定をみるに至り、やっと何んとか出来たと思いきや、宣伝のあり方や会場設備、各自治会の協賛金の還元(招待券の発行)など、実務と事務処理の両輪を平行して進行させる難かしさを痛感しました。

次には、準備が完了しても、天候の問題で全役員および関係者の皆さんが一緒に気になさって居られた如く、開催予定日の二日間とも雨天になりそうだと報道に互に顔を合わすと空を見上げて、晴

天なることを神に祈るのみでした。お陰で私達の努力と熱意が通じたのか、第一日は実施前に通り雨が、第二日目には、開催時間直後でしたが数十分の通り雨で、雨上りと同時に地域の皆さんが盆踊りに参加して下さいまして、この二日間とも例年通り盛大に挙行出来まして、実行委員の皆さんが終了後のあとかたづけの時に、よかった、よかったの言葉となって、笑顔で終れたことに感謝と感激の盆踊り大会であったと思います。

また、今年の盆踊り大会には、いままではなかった、子供の参加行事として公民分館より、子供太鼓の参加があり一段と祭りに花を添えていただき、更に来年度も子供達の参加を各自治会にも拡大して地域の輪を広げて参りたいものだと考えます。

終りに、今年の盆踊り大会の開催には、先輩の皆さん各自治会の役員の皆さんから、絶大なるご協力をおしみなくご提供頂きましたことを、協議会全役員心から感謝申し上げます。

盆踊り大会開催に際しましての苦勞話の一部を披露いたし、次年度への糧としまして連帯のご挨拶とします。

## 文化祭

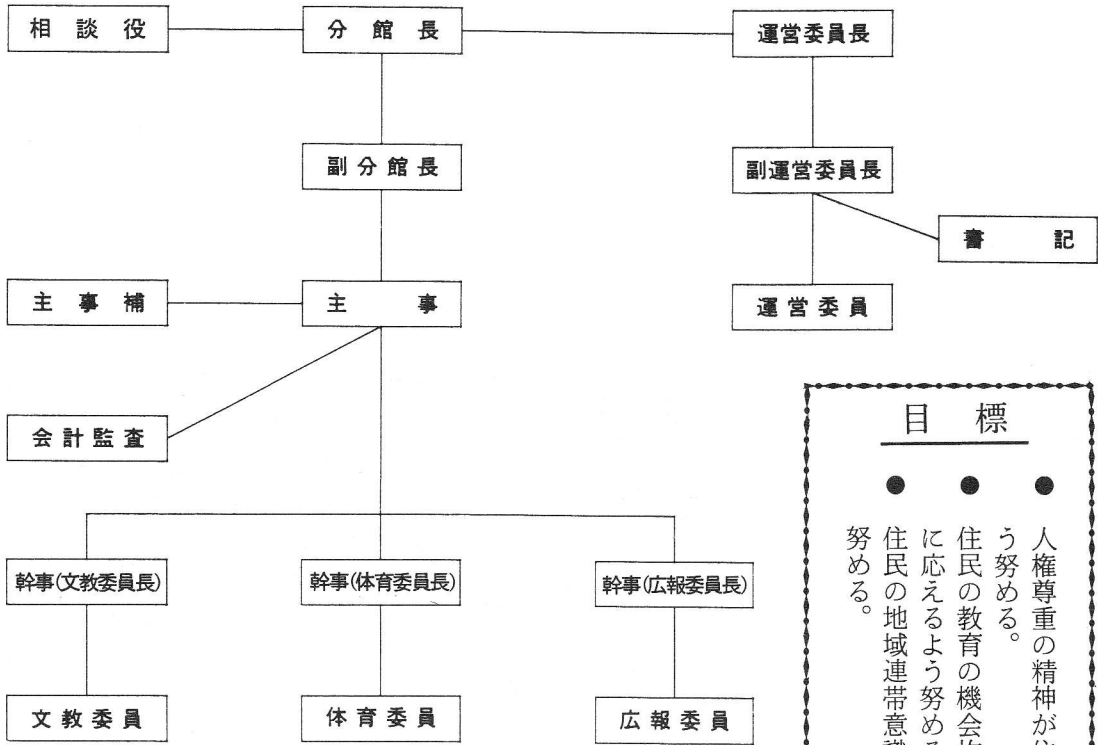
(N・A)

我が東町も街路樹や公園の木々の紅葉が美しく色つき秋も深まりゆく十一月十五日(日)東丘小学校体育館において、



公民分館主催の恒例の文化祭が開催されました。前日二時頃から各住区自治会、東丘小学校、アソカ幼稚園、めだか学級習字教室、絵画教室、木彫グループ、健全育成会、人権協等から作品が続々搬入され展示が進みます。のびのびとした子供達の作品、大人達の精魂込めて製作された作品は趣味の域を脱した格調の高いものが多く、東町住民の文化の高さを誇りとしたいものと感動させられました。そして当日はPTAのお茶席も賑わい、舞台では軽妙な司会で新千里ウインドアンサンブルのさわやかな演奏が始まり、続いてカラオケ大会では出場者が日頃鍛えたのを競い、和気あいあいの雰囲気が高まりました。校庭でグラウンドゴルフに興じた人達や買物婦りの住民も三々五々会場を訪れ、東町文化祭も毎年何か新しい試みが増えられつつしっかりと定着してきたように見受けられました。

昭和62年度・組織図



**目 標**

- 人権尊重の精神が住民の暮しの中で実現できるように努める。
- 住民の教育の機会均等と、多様な生涯学習の要求に応えるよう努める。
- 住民の地域連帯意識の高揚と、自治能力の向上に努める。

**お 知 ら せ**

**新春囲碁将棋大会**

日時：1月24日(日) 9:00 A.M.~

場所：東町会館 2F

※多数の御参加を期待しています。

編集後記

△新年あけましておめでとうでございます。公民分館の今年度の行事をあらかた昨年中に終えることができました。いずれの

行事も盛会裡に行ないえたことに対し深くお礼を申し上げます。残された行事は囲碁将棋大会だけです。

△それぞれの行事で問題点がなかったわけではない。たとえば例年に沿った行事をこなしていくのに多くの力がそがれ、新機軸を出すにいたらなかった点は否定しがたい。さらに行事の内容についても新しいものをと考えながら、新味を出せなかったことを来年度に向けての反省としたい。

△今号の「公民館だより」は行なわれた行事に関連した記事を主に掲載しました。原稿をいただいた方々に感謝します。

△公民分館の目的が単に行事をこなしていくことにあるのではなく、行事を通して地域住民がお互いにコミュニケーションを増し、明るく住みやすい町にしようということにある。そのためにはまず参加することが大切であって、それによって東町を私達の東町に出来ると考えている。

(F・S)

